



(1面から続く)
での交通安全対策も重要
になってきています。
過去のデータからは認

日常生活のありようを正
しくとらえて診断するこ
とが重要であることを見
察しています。

の逸脱が3倍、アクセラ
とブレーキの踏み間違い
は8倍にもなっています。
高齢ドライバーには「間

男性の免許保有者の場
合、年代が上がるにつれ
て「運転への自信」が高
まる傾向があるとも言わ

今年2025年は地域
医療構想のターゲット年
であり、いわゆる団塊の
世代がみな後期高齢者と

はいえ高齢者の仲間入り
である。
一方、患者さん達を見

ジュニアが高齢者となる
年、しかも、団塊3世の
人口増はなかったとのこ

しかし、だからこそ頑張
りたいと思っています。
病院協会も盛り立ててい

でよろしくお願いしま
す。
(長浜赤十字病院長)

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢

「運転技能検査」も行わ
れ、「認知機能検査」と
「運転技能検査」により

日常生活の問題とし
て、地方では公共交通の
不足があり、自家用車が

急発進抑制装置が、後
付け装置として販売され
ています。しかし、「高

今このころ、運転する
しなに関わらず、自動
車との関係を断ち切って

弾も検討されているよう
であるが、節目の年と言

るが高齢者の定義を75才
からにすべきとの議論も
当を得ているように思

翻って病院には膨大な
ジャンク情報です。すば

あけましておめでとう
ございます。
この原稿を投稿したあ

理事
高橋雅士
する中国軍の活動、ドイ

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢

内閣府の2017年の
交通安全白書では、75歳
未満のドライバーを基準

急発進抑制装置が、後
付け装置として販売され
ています。しかし、「高

今このころ、運転する
しなに関わらず、自動
車との関係を断ち切って

弾も検討されているよう
であるが、節目の年と言

るが高齢者の定義を75才
からにすべきとの議論も
当を得ているように思

翻って病院には膨大な
ジャンク情報です。すば

あけましておめでとう
ございます。
この原稿を投稿したあ

理事
高橋雅士
する中国軍の活動、ドイ

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢

内閣府の2017年の
交通安全白書では、75歳
未満のドライバーを基準

急発進抑制装置が、後
付け装置として販売され
ています。しかし、「高

今このころ、運転する
しなに関わらず、自動
車との関係を断ち切って

弾も検討されているよう
であるが、節目の年と言

るが高齢者の定義を75才
からにすべきとの議論も
当を得ているように思

翻って病院には膨大な
ジャンク情報です。すば

あけましておめでとう
ございます。
この原稿を投稿したあ

理事
高橋雅士
する中国軍の活動、ドイ

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢

内閣府の2017年の
交通安全白書では、75歳
未満のドライバーを基準

急発進抑制装置が、後
付け装置として販売され
ています。しかし、「高

今このころ、運転する
しなに関わらず、自動
車との関係を断ち切って

弾も検討されているよう
であるが、節目の年と言

るが高齢者の定義を75才
からにすべきとの議論も
当を得ているように思

翻って病院には膨大な
ジャンク情報です。すば

あけましておめでとう
ございます。
この原稿を投稿したあ

理事
高橋雅士
する中国軍の活動、ドイ

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢

# 年頭に思う

(順不同)



副会長
来見良誠

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

明な状況となっております。
このような状況下におい

と「地域医療構想」が主
役となっております。

「医師の働き方改革」
は、その第一歩は業務量

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

明な状況となっております。
このような状況下におい

と「地域医療構想」が主
役となっております。

「医師の働き方改革」
は、その第一歩は業務量

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

明な状況となっております。
このような状況下におい

と「地域医療構想」が主
役となっております。

「医師の働き方改革」
は、その第一歩は業務量

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解



副会長
楠井隆

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

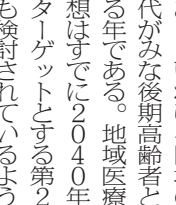
はいえ高齢者の仲間入り
である。
一方、患者さん達を見

ジュニアが高齢者となる
年、しかも、団塊3世の

しかし、だからこそ頑張
りたいと思っています。
病院協会も盛り立ててい

でよろしくお願いしま
す。
(長浜赤十字病院長)

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢



理事
石田展弥

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

利便性や即応性、透視性
動き方改革の初年でした

翻って病院には膨大な
ジャンク情報です。すば

あけましておめでとう
ございます。
この原稿を投稿したあ

理事
高橋雅士
する中国軍の活動、ドイ

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢



理事
青木治亮

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

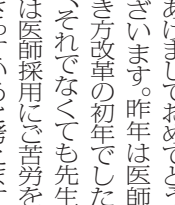
と「地域医療構想」を解

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解



理事
仲成幸

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

と「地域医療構想」を解

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解



副会長
来見良誠

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

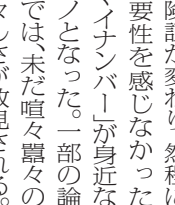
と「地域医療構想」を解

「地域医療構想」では、
医療機関個々の役割分担

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解

と「地域医療構想」を解



副会長
楠井隆

あけましておめでとう
ございます。令和7年を

はいえ高齢者の仲間入り
である。
一方、患者さん達を見

ジュニアが高齢者となる
年、しかも、団塊3世の

しかし、だからこそ頑張
りたいと思っています。
病院協会も盛り立ててい

でよろしくお願いしま
す。
(長浜赤十字病院長)

が、反民主主義の流れは
確実にグローバル化して
います。医療では、高齢



(友仁山崎病院長)

を考える必要があります。
元旦にお雑煮を頂く際に
使う「祝い箸」は柳の木

強い木質により風雨に耐
え、地にしっかりと根を
張りながら成長の芽を育

縁起が良いとされます。
先ずは柳の祝い箸を握り
ながら、今年一年に向け

す。
(日野記念病院長)



理事  
五月女隆男

新年あけましておめでとうございます。国際情勢が不安定な中、病院経営も不安定にならぬよう各病院とも奮闘されていること存じます。昨年の診療報酬改定で少数の吉と多数の凶を引き当り、本年こそは大吉を引き当りる意気込みの病院

が多いのではないのでしょうか。タイガースの大山選手が6年24億のジャイアンツを袖にして5年17億でFA残留し、虎党としては胸のすく結果となりました。来季の四番打者を質問された藤川新監督の「大山がいるから」の言葉が決め手だったようで、改めて指揮官の一言の重要性を物語るものでした。これはすべての組織に通じるもので、「あなたに任せよう」と信頼している。を時に有言で発することが組織を一段階上のステージに引き上げることに繋がる可能性を秘めていると感じています。今年は感謝を口に出す一年にしたいと思えます。

(ウォーリス記念病院長)



理事  
田中俊宏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては良い一年となりますように、心よりお祈り申し上げます。年頭ですので明るい未来を語ろうと思えます。大学病院です。人材育成がお仕事のひとつです。本院の専門医研修課程に入ってくれる先生が増えれば、

結局入局者が増え、それは滋賀県で働く医師の増加に直結します。「滋賀医大が良くなれば滋賀県が良くなる。滋賀県が良くなれば滋賀医大が良くなる」ような仕組みができてくるのが、医師の獲得についての明るい未来です。その一つ前の研修医教育についても、滋

賀県で初期研修を行う医師は毎年増加の傾向にあります。初期研修を行った地域で専門医研修を行う率が高いことはすでに示されていますので、これも明るい未来です。(滋賀医科大学医学部附属病院長)

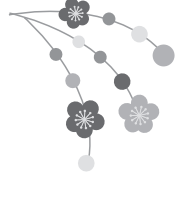


理事  
辻川知之

2025年を迎え、公立甲賀病院の院長として地域医療の未来に思いを巡らせています。ほぼ全ての病院で経営が厳しい中、我々は努力を重ね、地域医療を守る責任を果たしていかなければなりません。少子高齢化や人

材不足、医療費抑制など課題は山積していますが、患者さんに寄り添い、命を支える使命はこれからは変わりありません。今年も連携強化や次世代に向けた医療体制の構築に力を注ぐとともに、医療従

事者が安心して働ける環境整備に努めます。地域に信頼される医療提供を支える一助となるべく全力を尽くす所存です。本年もよろしくお祈りいたします。(公立甲賀病院 理事長・院長)



理事  
小川修

もう30年も前になりましたが、秋田大学で助教授として働いていた時のエピソードです。当時の教授に「小川君、もう少し礼儀正しい身なりで患者さんに接しなさい。三つ星レストランで食事をするとときに、汚い身なりのシェフが出てきたら良い気分はしないだろう」と

注意を受けました。それ以来、病院での身だしなみには気をつけています。4年前の院長着任時、当院の医師全員にロゴ入り（副部長以上はネーム入り）の白衣を強制的に配りました（写真）。ちなみに、ブルーの円が琵琶湖を象徴しているこのロゴは、私の家内が原案を作ってくれました。今では、ほぼ全員の医師が着用してくれています。地域の皆さんに選ばれる三ツ星病院を目指し、本年も頑張っていきたいと思

(大津赤十字病院長)



理事  
白山武司

新年あけましておめでとうございます。診療報酬改定から半年あまり、厳しさを実感しつつある日々である。「職員給与をあげよう」という政府の強いお達しに、公立病院としては満額回答せざるを得ず給与が急上昇。おまけに「手技料でカバーして」という納入業者からは材料費の逆

ざや多数。その手技料たるや、維持経費（電気が）に使果たしている。さまざまに制度改革も机上の数合わせが多く、複雑な規則と、「せざるを得ない」といった後ろ向き議論に終わる傾向がある。実は、何よりも大事なものは、それぞれの意欲と意思を發揮するチャンス

と希望や喜びのもてる環境を整えることである。当院としては、救急疾患やロボット手術を中心にするべく希望とインパクトを与え、医療機能を維持していきたい。本年もよろしくお祈りいたします。(近江八幡市立総合医療センター院長)



理事  
日野明彦

明けましておめでとうございます。当院に着任して三回目の新年です。着任前日、私は家人からセクハラ厳禁、パワハラ厳禁、イライラしない…等々、7項目の提言をつ

きつけられました。これまで死守したのは「セクハラ厳禁」だけだといわれています。その指摘の是非はともかく、手術室の壁にこの7項目を貼られていて絶句しました。

た。人はなかなか変われないものです。当院の2024年の主な出来事を列挙します。滋賀医大との連携で始めたドクターカーの出動件数が月50件を超えた。地域医療機関からの紹介患者数が過去10年で最も多くなった。高齢者救急診療対策の一つとして、地域包括医療病棟を開設した。

健康から緩和病棟まで、多職種が連携する「がんセンター」を開設した。テレビ東京、「ガイアの夜明け」で病院再建活動の第二弾が放送された。またまた夜明けとはいえませんが当院は本年も頑張ります。本年もご指導賜りますようお願い申し上げます。(市立大津市民病院長)



理事  
高折恭一

あけましておめでとうございます。年明け早々と恐縮ですが、令和7年の収入は診療報酬によりは、人事院給与通告の影響や医療材料費等の高昇により、病院経営にとっては厳しい年になることは間違いありません。政府は、物価高を上回る賃上げを重要政策と位置付けており、人件費の上昇は続きそうです。医療以外の分野では、企業の生産性向上などにより、経費

上昇の解決を図っていくと考えられますが、病院の収入は診療報酬により決定され、人口減少地域では、大幅な増収を見込むことができません。それでもなんとか、市立長浜病院では過去最高の医療収入を毎年更新し続けていますが、これを上回る経費の高昇により損益が増えています。滋賀県内の病院では、公立私立を問わず、同じような状況

(長浜市民病院事業管理者・市立長浜病院長)



理事  
武田佳久

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健康やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。私事でございますが、昨夏に初めて新型コロナに罹患しました。それま

では風邪の少し重いくらい病気が侮っておりましたが、高熱と食事摂取困難で起きることもできない状態でした。大学生の頃虫垂炎になって以来寝込んだことがなかったためか、大袈裟ではありませんが布団の中で不治の病に侵されたかのような思いでした。「起きて動く果報者」とか「健康に勝る宝なし」とよく言われますが、まさに健康の大切さを実感した経験でした。

新年明けましておめでとうございます。昨年の本会報において私の主張や「いい医療」を掲載させていただきました。今後15年の間で人口構成が大きく変わる中で、社会保障費用を医療、年金、社会福祉（介護・少子化対策など）に適正に再配分していく必要があります。特に高齢者人口の増加に伴い介護や在宅支援は喫緊の課題となっております。

小職に就いて4年目となる本年ですが、この自身の体験を活かして、患者本位の寄り添う医療の実践というさらなる誓いを新たに、地域の方々が健やかな暮らしができる

況の病院が多いと思われま。このような時こそ病院間の情報交換が重要だと考えています。一方、明るい材料としては、病診連携の活発化があります。昨年の診療報酬改訂でも病診連携に掛かる加算が新設・増額されており、多くの病院で新たな取り組みをされているようです。このような状況を踏まえて、本年2月2日にヒアザ淡海で開催される滋賀県病院大会においては、これからの病診連携をテーマに特別講演とパネルディスカッションを実施します。日本医師会の松本吉郎会

今年も様々な課題に取り組む一年となる存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお祈りいたします。



理事  
野崎和彦

することは不可能であり、各医療機関の努力において経営を維持することは難しくなっています。今後、医療職を含め生産年齢人口は減少していきま

者数に応じた医療行政単位を決めることにより各地域で適正な医療供給体制を構築する必要があります。

今年もすべての皆様のご多幸、滋賀県の医療のさらなる健全化を祈っております。(東近江総合医療センター 院長)





理事  
足立 壯一

滋賀県病院協会の皆さま、明けましておめでとうございます。本年も、よろしくお願ひいたします。今年から滋賀県立総合病院は小児保健医療センターと統合し、新たな県立総合病院となります。全国的に定員割れして



理事  
濱名 優

全国的に定員割れして存続の危機を迎える看護学校が珍しくないと聞きます。少子高齢化、労働年人口減、他業種の人材の奪い合いで医療を



理事  
中野 顕

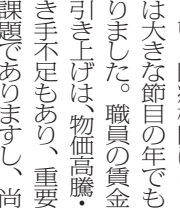
新しい年、2025年の幕開けを迎え、皆様にご挨拶申し上げます。今年のご挨拶は、「き」と「み」は、柔軟性と知恵を象徴する年とされています。この「き」と「み」は、十の二番目で「軌（きしむ）」を意味しています。木の陰のエネルギーを表し、植物が成長し広がっていくよ

ある移行期医療問題が解決され、総合病院としても腫瘍内科の充実と放射線治療棟の新築と新たな放射線治療機器の導入により、新たながん治療の



監事  
北野 博也

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、実りある一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。さて昨年も、国内情勢、また、世界情勢が様々な変化しました。そして、診療報酬改定と働き方改革という医療機関にとっ



監事  
難波 江正浩

新年あけましておめでとうございます。公益財団法人・豊郷病院は本年4月27日に創立100周年を迎えます。この記念すべき年に十一代病院長の職務を与えられたため、あわせて感謝するものです。当院は、もと丸紅商店社長・九代目伊藤長兵衛翁が大正14年に当時病院長のなかつた郷里の豊郷村に巨額の浄財を投じて設立されました。当初は内科小児科の仮診療所から始まり、翌年には18床の病院が竣工されて以来今日まで先人たちの地域医療への献身的な奉仕精神に支えられ

用した効率的な職場環境作りも求められます。すくには結果の出ない問題ではありませんが、日々奮闘してくれている職員のため、また、この先医療職に携わってくれる若い世代のためにも、今私たちが出来ることを一歩一歩進めていかねばならないと思っています。本年も引き続き職員一丸となって尽力してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。(淡海医療センター理事 長兼病院長)



### 令和6年度 滋賀県病院協会 医療安全対策研修会に参加して



医療法人芙蓉会 南草津病院 看護部長  
西村 寿加代

令和6年11月12日、滋賀県病院協会主催の「医療安全対策研修会Web開催」が開催されました。本研修会には、医療安全に関心のある医療従事者が参加し、医療安全の重要性や、患者の安全確保について学びました。研修会では、医療安全の重要性や、患者の安全確保について学びました。研修会では、医療安全の重要性や、患者の安全確保について学びました。

令和6年12月3日、滋賀県病院協会主催の「院内感染対策Web研修会」が開催されました。研修会には、院内感染対策に関心のある医療従事者が参加し、院内感染対策の重要性や、患者の安全確保について学びました。研修会では、院内感染対策の重要性や、患者の安全確保について学びました。

### 令和6年度 院内感染防止対策Web研修会に参加して



近江八幡市立総合医療センター 臨床検査科副技師長  
近澤 秀己

令和6年12月3日、滋賀県病院協会主催の「院内感染対策Web研修会」が開催されました。研修会には、院内感染対策に関心のある医療従事者が参加し、院内感染対策の重要性や、患者の安全確保について学びました。研修会では、院内感染対策の重要性や、患者の安全確保について学びました。

設において不足している情報を俯瞰して提示できることを学びました。OASCIISは、診療所向けに特化したJ-SIPHEのバージョンであり、自施設の状況や地域内で活用することができ、地域全体でサーベイランスを取り組むことで、感染予防と管理の向上が期待されます。滋賀県においては参加施設が少なく、受け入れ側病院からのOASCIISの情報提供や医師会へのアプローチが今後必要だと考えました。第二部は「感染対策と地域ネットワーク」について、千葉大学医学部附属病

(4面から続く)  
 定の目玉は働き方改革、安心・安全・医療の質、医療DXであり、J-SIPHEの導入と活用は医療DXとの親和性が良  
 く、新興感染症を地域ぐるみで対応できる医療体制の構築の重要性も併せて御紹介頂きました。  
 今回の研修会を受けて、当院では主にJANISでのデータを用いた院内感染対策委員会での報告して、染対策委員会でも報告して、J-SIPHEも活用し複数の視点からのデータ解析を利用し院内感染対策に利用  
 すべきと感じました。最後に、このような有意義な院内感染対策研修会を企画頂いた先生方や関係者の皆様に深く感謝致します。

### 令和6年度 入院支援機能強化事業 全体研修会 「本人を真ん中においた入院支援を考える」 ～意思決定支援の具体的な進め方～ 研修に参加させていただいて学んだ」と思っています



医療法人マキノ病院  
 看護部長代行 地域医療連携室統括室長  
 野崎 紀子

私が現在住んでいる湖西地域(高島市)は、高齢化率が令和6年7月1日現在で38・1%と高く、少子高齢化や人口減少による過疎化、世帯の単身化などの課題があります。また、2050年までの消滅可能性自治体にも湖西地域(高島市)はあがってしまっており、私が後期高齢者になる時期だと考えると一市民としても不安になります。そんな状況にある湖西地域で、生活されている高齢者が介護認定を受けておられなかったために福祉サービスを受けられ

ていなかったり、老々介護などで介護に限界が生じていることが入院をきっかけに大変な状況が分かったり、認知症がありながらも独居で自宅生活がままだったというケースが入院支援に関わる仕事をさせていただくようになって、分かってきました。

今回の研修会に参加させていただいて、患者さんを中心と考えた入院支援というものが行えていたのかということや、改めて考えるよい機会となった研修でした。病院にとって在院日数が長くなると、どうしても長期入院患者さんが退院調整の対象としてあ



がってきてしまいます。高齢者は複数の病気を合併した状態で入院されていることが多く、病状が不安定になることが多いため退院調整がスムーズにいかないことが多々あります。時間が限られる中で退院調整は、自宅に帰るために何のサービスが必要なのかということが中心になってしまい、状況にもよりますが患者さんの思いが意外に入っていないこともあるのではないかと感じました。退院前カンファレンスの時点で検討し始めては遅いということも理解はしていますが、家族も入院されたことをきっかけに介護に対しての負担を訴えられることもあり、なかなかうまくいかないこともあるのが現状です。私の勤務する病院でも、入院支援室が開設されたこともあり、担当看護師と相談をしながら退院調整を進めていますが、本人を知る・家族を知る・患者さんのために行うカンファレンスも、対象となる患者さんを抜きにして話を進めないなど本人の意思を尊重した取り組みを行ってほしいように心がけたいと思います。入院早期から退院を視野に入れて多職種と連携していきけるような関わりを持ちたいと改めて思いました。

### 令和6年度 滋賀県病院協会 第2回医事研究会に参加して



大津赤十字病院  
 医事課 入院係長  
 中村 竜之介

12月12日(木)14時から、「滋賀県病院協会 第2回医事研究会」をWEBにて受講しました。  
 講師は、ニチイ学館の永田先生を招いて「2024年度診療報酬改定後の留意点及び審査支払基金の動向と査定状況」という内容にて、いろいろとお話を伺いました。  
 前半は、6月に実施された2024年度診療報酬改定、重要改定項目のポイントのおさらい、後半は支払基金の審査状況の現状、という2部構成の内容でした。  
 今一度振り返りますと、今回の改定は、一昔前の改定と比べ、処置料や検査料、画像診断料といった「特掲診療料」の点数の上げ下げや、新設の項目といった細かな改定、と言ったりは、医療DXやベースを、改定作業の中

において一番重要視して取り組む。  
 こういった事からも改定作業に対する医療DXが、私たち病院職員にも大きく寄与していることが感じ取れます。  
 そして今年12月から、基本的に保険確認はマイナ保険証を原則とするという国の方針のもと、従来の保険証の新規発行が廃止となりましたが、病院の中の実態としては、様々な課題があり対応に苦慮しているところだと思います。  
 今後ますます医療DX、AI化が進んでいくことになるかと思っております。当院としてもベンダーとも協力しながら、時代の波に乗り遅れないように対応していきたいと考えています。  
 その医療DXですが支

私基金の審査においても活用されているという事で、その最たるものが「AIによるレセプト振分機能」です。  
 現時点でレセプト全体の9割がコンピューターチェックで行われており、病院側もAIなどを活用していかないと、請求が認められなくなる状況が益々増加すると感じました。  
 「査定状況」についての講演では、投薬の禁忌から査定に至ったやや輸血の数値の重要性、材料の本数査定など、詳細にお話をいただきました。  
 査定から再審査請求において、「復活」に至った経緯を確認しますと、今一度、症状詳細の重要性を再認識することができました。医師の中には、入院から退院までの経過、所謂サマリーの要素の認識を持っている場合があ

### 病院の統合のお知らせ

令和7年1月1日から滋賀県立総合病院と滋賀県立小児保健医療センターは統合し、新たに滋賀県立総合病院となりました。

---

### ご逝去を悼む

医療法人社団美松会 生田病院 生田 邦夫 理事長におかれましては、かねてより入院加療中でしたが、令和6年11月25日にご逝去されました(享年76歳)。謹んでお悔やみ申し上げます。

### 令和6年度(第44回) 滋賀県病院大会のご案内

◇日時: 令和7年2月2日(日) 13時~16時40分 (受付12時30分~)  
 ◇会場: ピアザ淡海 滋賀県県民交流センター2階 ピアザホール

◇特別講演 (県民公開講座)  
 座長 一般社団法人 滋賀県病院協会  
 会長 三木 恒治 (済生会滋賀県病院 院長)  
 演題 「これからの病診連携の在り方について」  
 講師 公益社団法人 日本医師会  
 会長 松本 吉郎 先生

◇パネルディスカッション  
 テーマ 「これからの病診連携を考える」  
 座長 一般社団法人 滋賀県病院協会  
 理事 高折 恭一 (市立長浜病院 院長)

演題① 「令和6年度診療報酬改定について」  
 講師: 厚生労働省保険局医療課 課長補佐 佐々木 康輔 氏

演題② 「滋賀県医師会における病診連携の取組みと課題」  
 講師: 一般社団法人 滋賀県医師会  
 会長 高橋 健太郎 先生

演題③ 「地域医療包括医療システムに基づいた病診連携の取組みと課題」  
 講師: 公益財団法人 近江兄弟社ヴォーリス記念病院  
 院長 五月女 隆男 先生

★厚生労働大臣表彰  
 長浜赤十字病院 院長  
 楠井 隆氏

★公益財団法人 滋賀県健康づくり財団理事長表彰  
 社会医療法人誠光会  
 淡海ふれあい病院  
 平野 正満氏

社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院  
 脳神経外科 主任部長  
 脳神経センター長併任  
 脳卒中センター副センター長併任  
 医療の質・安全管理センター副センター長併任  
 救命救急センター副センター長併任  
 岡 英輝氏